

## 施策1 医療機能の充実・強化

多摩病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化</b>							
①救急医療 (初期・二次)の安定的な提供	①救急車搬送件数の確保 ②初期、後期研修医による救急診療の質の向上	救急車搬送件数	5,000件	2,293件	4,586件	91.7%	4,296件
		救急研修・教育	実施 (症候レクチャー)	実施 (症候レクチャー)	実施 (症候レクチャー)	-	実施 (症候レクチャー等)
		小児輪番病院への参加	参加	参加	参加	-	参加
②災害医療機能の維持	①災害派遣医療チームの隊員の増員 ②災害訓練の実施 ③備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	日本DMAT資格保持者人数	10名	9名	10名	100.0%	9名
		災害訓練の実施	実施	実施	実施	-	実施
		3日以上以上の備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の確保と適切な補充・交換	実施	実施	実施	-	実施
③パンデミック発生時の体制整備	①災害時感染制御支援チーム(DICT)の育成 ②シミュレーション訓練の実施 ③バックアップ人員の確保を含めた施設の整備	DICTの育成人数	1名	1名	1名	100.0%	1名
		シミュレーション訓練	実施	実施	実施	-	実施
<b>取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充</b>							
①集学的治療の推進	①化学療法の積極的な実施 ②消化器早期がんに対する低侵襲治療(特に内視鏡的粘膜切除)の技術向上による積極的な実施 ③肝がんに対する集学的治療(肝切除、局所治療、カテーテル治療、全身化学療法)の推進 ④消化器がんを中心とした手術の積極的な実施 ⑤「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加	抗がん剤混合調整業務における外来1抗悪性腫瘍剤の延べ患者数	1,900人	831人	1,662人	87.5%	1,973人
		消化器早期がんに対する低侵襲治療件数	15件	9件	18件	120.0%	20件
		肝がんに対する集学的治療件数	35件	36件	72件	205.7%	63件
		消化器がんを中心とした手術の積極的な実施件数	600件	186件	372件	62.0%	353件
		「地域がん登録」、「全国がん登録」への登録件数	654件	430件	860件	131.5%	530件
②緩和ケア医療の推進	①緩和ケア研修会受講済の医師(身体・精神)の安定的な確保 ②緩和ケアチームの活動の拡充 ③地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会の実施 ④緩和ケア病棟の運営強化	緩和ケア診療加算の算定件数	43件	3件	6件	14.0%	2件
		緩和ケアチーム介入患者数	52人	100人	200人	384.6%	16人
		緩和ケア研修会の実施回数	2回	1回	2回	100.0%	1回
③がん相談体制等の充実	①がん相談支援センター(がん相談専門員)等の設置へ向けた検討	がん相談支援センター等の設置	検討	検討	検討	-	検討

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実</b>							
①チーム医療の推進	①栄養サポートチームによる入院期間延長の改善、短縮 ②緩和ケアチームによるがん患者・非がん患者、家族の全人的苦痛緩和の実施 ③認知症ケアチームによる認知症ケア及びせん妄ケア対応の推進（薬剤の適正使用を重視した薬物療法・多職種協働による非薬物療法の強化・退院支援の強化）、及び認知症疾患医療センターとしての指定申請 ④褥瘡対策チームによる褥瘡（床ずれ）の防止等 ⑤摂食嚥下チームによる誤嚥防止 ⑥専門資格の取得支援	栄養サポートチーム回診延べ患者数	300人	397人	794人	264.7%	764人
		緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	53人	10人	20人	37.7%	16人
		認知症ケア加算1の算定	実施	実施	実施	-	実施
		認知症ケアチームの回診（週1回）対応患者数	120人	364人	728人	606.7%	136人
②高度・専門医療の展開	①循環器内科でのアブレーションを含めたインターベンションの拡充 ②脳神経外科による脳卒中急性期医療の整備 ③消化器・一般外科での手術支援ロボットを用いた手術の展開 ④泌尿器科での前立腺がん疑いに対するトリニティーを用いた経会陰的前立腺針生検により、前立腺がん検出率を向上させ、前立腺がん患者に対し手術支援ロボットを用いた前立腺全摘手術を展開 ⑤ISO15189の認定と評価に基づく実践 ⑥末梢血幹細胞移植の環境整備 ⑦角膜移植の実施及び眼科外来の環境整備	アブレーション実施件数	110件	110件	220件	200.0%	54件
		脳神経外科カテーテル手術件数	36件	33件	66件	183.3%	62件
		直腸がん手術件数	30件	16件	32件	106.7%	28件
		前立腺針生検件数	108件	69件	138件	127.8%	108件
		前立腺がん手術件数	24件	11件	22件	91.7%	23件
<b>取組項目(4) 医療安全の確保・拡充</b>							
①医療安全の強化	①医療事故の防止、及び事故発生時の迅速な対応 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師配置の継続と薬剤師の配置に向けた検討	医療事故の防止及び迅速な対応（参考：事故報告件数）	実施	実施	実施	-	実施
		医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置（届出）	実施	実施	実施	-	実施
②院内感染対策の推進	①感染管理の資格を有するスタッフ（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師）の増員と配置 ②全職員の感染対策に関する知識・実践行動の強化 ③感染制御チームによる活動の推進	感染管理の資格を持つスタッフの確保人数	9名	14名	14名	155.6%	11名
		全職員の感染対策に関する知識・実践行動の強化	実施	実施	実施	-	実施
		感染制御チームによる活動の推進	実施	実施	実施	-	実施
<b>取組内容の状況と分析、今後の方向性</b>							
<p>【取組内容の状況と分析】</p> <p>取組項目（1）：救急車搬送件数は、目標値の半数を若干下回ったものの比較的堅調となっています。</p> <p>取組項目（2）：医師の異動等により目標値に届かない項目を除き計画通りに進められています。 なお、緩和ケア診療加算の算定は対象が一般病棟に限られ、緩和ケア病棟では算定不可となるため、減少傾向となっています。</p> <p>取組項目（3）：各サポートチーム・ケアチームが円滑に活動を進められており、各手技も適宜適切に実施されています。</p> <p>取組項目（4）：医療安全、院内感染対策とも計画通りに進められています。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>それぞれの取組項目について、下半期も継続して実践してまいります。</p>							

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策2 地域完結型医療の推進

多摩病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進</b>							
①地域医療支援病院の運営と強化	①登録紹介医制度の推進 ②検査機器等の共同利用の推進	登録紹介医制度の推進	実施	実施	実施	-	実施
		検査機器等の共同利用の推進	実施	実施	実施	-	実施
②地域包括ケアシステムの推進	①「病院と在宅ケアネットワークの会」の充実 ②地域医師会との懇談会の定期開催 ③登録紹介医施設への訪問活動	「病院と在宅ケアネットワーク会」の充実	実施	実施	実施	-	実施
		登録紹介医との懇談会の定期開催	実施	未実施	実施	-	実施
		登録紹介医施設への訪問活動	実施	実施	実施	-	実施
<b>取組内容の状況と分析、今後の方向性</b>							
<p>【取組内容の状況と分析】                      地域からの紹介用に画像の検査枠を拡大し、地域医療支援病院としての役割を果たしながら、地域包括ケアシステムに対する活動も計画通りに進められています。</p> <p>【今後の方向性】                      これまでの活動を継続してまいります。なお、登録紹介医との懇談会は「地域連携の会」として11月に開催を予定しています。</p>							

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目(1) 人材の確保・育成の推進</b>							
①医療従事者の安定的な確保	①質の高い医療・看護の安定的な提供や医療機能の強化、働き方改革を踏まえた適正な人員配置等に向けた医療従事者確保の取組を推進 ②病院実習生の受入れ ③病院見学 ④インターンシップの受入れ	基幹型臨床研修医の受入人数	22名	22名	22名	100.0%	21名
		内科専門医プログラムの受入人数	3名	1名	1名	33.3%	5名
		総合診療専門医プログラムの受入人数	6名	6名	6名	100.0%	2名
		新・家庭医療専門医プログラムの受入人数	6名	6名	6名	100.0%	5名
		医学生・看護学生等の実習受入人数	230名	437名	655名	284.8%	238名
		看護学生等の実習校数	11校	11校	17校	154.5%	11校
		看護学生等の実習数	26実習	24実習	36実習	138.5%	24実習
		インターンシップ受入人数	200人	28人	42人	21.0%	74人
		病院見学人数	60人	81人	162人	270.0%	21人
②職員の専門能力の向上	①提供する医療・看護の質の向上を図るため、臨床研修指導医・専門資格取得・研修受講の促進 ②認定看護師資格取得の推進 ③特定行為研修受講の推進 ④診療情報管理士の安定的な確保	臨床研修指導医数	53名	52名	52名	98.1%	50名
		認定看護師数	13名	10名	10名	76.9%	11名
		特定行為研修修了者数	6名	5名	5名	83.3%	1名
		診療情報管理士数	10名	14名	14名	140.0%	7名
③学術活動への積極的参加	①学会、及び論文発表等の取組を推進 ②治験協力を推進	原著論文数	45件	12件	29件	64.4%	124件
		症例報告論文数	20件	5件	13件	65.0%	15件
		学会・研究会発表数	150件	68件	109件	72.7%	307件
		治験・市販後調査実施数	13件	0件	6件	46.2%	3件
		競争的研究資金獲得数	6件	0件	3件	50.0%	3件

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進</b>							
①働きやすい職場づくり	①医師事務作業補助者の確保・充実 ②看護助手の増員(日勤・夜勤) ③入退院支援業務の拡充 ④NP(Nurse Practitioner)の増員 ⑤業務のイノベーション(リモートワーク・時差出勤) ⑥デジタル化(RPA(Robotic Process Automation))の推進	医師事務作業補助者数	22名	24名	24名	109.1%	18名
		看護補助者人数	89名	63名	76名	85.4%	68名
		看護補助者人数のうち、夜勤従事者数	14名	8名	11名	78.6%	8名
		NPの人数	5名	3名	4名	80.0%	4名
②タスクシフトの推進	①入退院支援業務の拡充 ②病棟薬剤師の業務拡大 ③療法士による病棟リハの拡大 ④看護補助者の増員	入院時入退院支援センター介入件数	2,000件	1,600件	3,200件	160.0%	1,998件
		病棟薬剤師の業務時間数	38,000時間	18,411時間	36,822時間	96.9%	31,496時間
		リハビリテーション提供患者数	50,000人	22,606人	45,212人	90.4%	37,501人

**取組内容の状況と分析、今後の方向性**

【取組内容の状況と分析】

取組項目(1)：コロナが5類となって医学生・看護学生等の実習等はコロナ以前に戻る状況となっています。専門的な資格取得者も概ね目標に近づいてきています。

取組項目(2)：増員を目論む看護補助者については、目標値に届かない状況となっています。

【今後の方向性】

取組項目(2)の①働きやすい職場づくりを目指し、看護補助者の募集を継続してまいります。

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策4 患者に優しい病院づくり

多摩病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目 患者サービスの向上</b>							
①分かりやすい情報提供	①ホームページのリニューアルと内容の充実 ②ライフマークコンシェルジュのプッシュ通知機能を用いた情報発信 ③デジタルサイネージを用いた情報発信	ホームページへのアクセス件数	30万件	11.2万件	22.4万件	74.7%	24.2万件
②利用しやすい施設の強化	①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化	医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化	実施	実施	実施	-	実施
<b>取組内容の状況と分析、今後の方向性</b>							
<p>【取組内容の状況と分析】 ホームページへのアクセス件数が目標値に比べ減少傾向となっています。</p> <p>【今後の方向性】 アクセス件数の増加を目指して工夫を重ねてまいります。医療相談センターでは、引き続き患者等の声を傾聴し、対応してまいります。</p>							

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策5 地域・社会への貢献

多摩病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目 地域・社会への貢献</b>							
①市民に対する医学知識の普及啓発	①川崎市チャンネルへの動画掲載を含む市民健康講座の開催 ②ミニ市民講座の開催 ③かわさきFMを利用した情報発信	市民健康講座の開催(動画版含む)	実施	実施	実施	-	実施
		ミニ市民講座の開催	実施	未実施	実施	-	実施
②環境を意識した病院経営	①冷房用熱源設備(スクリーチャー冷凍機)の運用 ②空調及び熱源設備の機能維持のため、省エネ効果がある部品類の整備交換 ③LED照明への更新継続 ④各部署での省エネチェックシート記入継続(省エネ・節電実施の意識向上を目的)	冷房用熱源設備(スクリーチャー冷凍機)の運用	運用	運用	運用	-	更新
		省エネ効果がある部品類の整備交換率	50.0%	32.5%	41.3%	82.6%	30.0%
		LED照明の導入割合	60.0%	50.0%	55.0%	91.7%	48.7%
		省エネチェックシート記入率	95.0%	90.0%	92.5%	97.4%	90.1%
<b>取組内容の状況と分析、今後の方向性</b>							
<p>【取組内容の状況と分析】 動画版市民健康講座のほか、かわさきFMを利用した市民に対する医学知識の普及啓発もあわせて引き続き行っています。また、かわさきSDGsゴールドパートナーとしてSDGs達成に向けて取り組んでいます。</p> <p>【今後の方向性】 市民に対する医学知識の普及啓発、環境を意識した病院経営を継続し、地域・社会へ貢献してまいります。</p>							

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

## 施策6 強い経営体質への転換

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
<b>取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進</b>							
○収入確保に向けた取組の推進	①医療機能の充実・強化による診療収益の確保 ②精度の高い診療報酬請求 ③未収金催告・督促の強化	レセプト査定率	0.35%	0.39%	0.35%	100.0%	0.46%
		催告・督促総件数	400件	719件	1,438件	359.5%	831件
<b>取組項目(2) 経費節減・抑制の強化</b>							
○経費節減・抑制に向けた取組の推進	①適正な在庫管理 ②負担軽減検討のためのワーキンググループの開催	4病院統一購入による単価・購入価の減額	実施	実施	実施	-	実施
		負担軽減検討のためのワーキンググループの開催	実施	実施	実施	-	実施
		業務効率化のための業務可視化・課題の抽出 ワークフロー・改善策の作成	実施	実施	実施	-	実施
<b>取組項目(3) 経営管理体制の強化</b>							
○経営管理体制の強化に向けた取組の推進	①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営企画会議の開催	幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		経営企画会議の開催回数	12回	6回	12回	100.0%	12回
<b>取組内容の状況と分析、今後の方向性</b>							
【取組内容の状況と分析】 取組項目(1)：レセプト査定率が目標値を上回っています。催告・督促については、未収金0(ゼロ)を目指して進めています。 取組項目(2)：4病院統一購入、負担軽減検討、業務効率については、工夫を凝らして経費節減・抑制に向けて進めています。 取組項目(3)：幹部会議、および経営企画会議について、幹部のみならず各職員への周知徹底を進めています。							
【今後の方向性】 強い経営体質を目指して取組項目(1)、同(2)、同(3)について各取組を進めてまいります。							

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。